

2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月14日

上場会社名 雪印メグミルク株式会社 上場取引所 東・札  
 コード番号 2270 URL <https://www.meg-snow.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 雅俊  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部長 (氏名) 左柄 正典 (TEL) 03-6859-1466  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月24日 配当支払開始予定日 2026年6月4日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月16日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	615,761	△0.0	18,266	△4.5	20,486	1.1	32,897	136.6
2025年3月期	615,819	1.7	19,125	3.6	20,262	1.9	13,904	△28.4

(注) 包括利益 2026年3月期 19,497百万円( 5.6%) 2025年3月期 18,457百万円( △21.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	524.82	—	13.6	4.8	3.0
2025年3月期	205.93	—	5.8	4.7	3.1

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 1,210百万円 2025年3月期 662百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	426,820	240,741	55.7	3,923.36
2025年3月期	431,073	248,037	56.8	3,626.93

(参考) 自己資本 2026年3月期 237,666百万円 2025年3月期 244,680百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	22,897	7,067	△37,348	13,998
2025年3月期	21,100	△18,512	△10,375	21,319

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	—	—	100.00	100.00	6,767	48.6	2.8
2026年3月期	—	—	—	100.00	100.00	6,076	19.1	2.6
2027年3月期(予想)	—	—	—	100.00	100.00		24.1	

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日~2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	323,000	4.5	9,700	5.7	10,100	△4.7	17,400	54.2	290.03
通期	645,000	4.7	21,000	15.0	21,800	6.4	24,500	△25.5	414.53

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有  
 除外 3社(社名) 株式会社ロイヤルファームほか2社
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期	63,835,455株	2025年3月期	70,751,855株
② 期末自己株式数	2026年3月期	3,258,094株	2025年3月期	3,289,559株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	62,682,412株	2025年3月期	67,519,628株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	325,535	△0.6	10,643	△16.7	13,056	△7.6	28,628	193.9
2025年3月期	327,426	3.7	12,774	6.7	14,134	2.4	9,741	△44.8
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年3月期	456.72		—					
2025年3月期	144.27		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円		
2026年3月期	349,035	174,173	49.9	2,875.23		
2025年3月期	350,112	185,979	53.1	2,756.79		

(参考) 自己資本 2026年3月期 174,173百万円 2025年3月期 185,979百万円

- ※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です  
 ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

当社は、2026年5月14日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。これにより、2027年3月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式取得の影響を考慮して記載しております。

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算補足説明資料は決算短信に添付しております。

当社は2026年5月14日(木)にアナリスト、機関投資家向けの説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料については、同日当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	4
(3) 今後の見通し .....	5
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(表示方法の変更) .....	14
(セグメント情報等) .....	15
(収益認識関係) .....	17
(1株当たり情報) .....	18
(重要な後発事象) .....	18

(補足説明資料)

2026年3月期 決算短信 補足説明資料

## 1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当連結会計年度の末日現在において判断したものであります。

### (1) 当期の経営成績の概況

当期のわが国経済は、緩やかに回復しています。先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢の影響や米国の通商政策をめぐる動向を注視する必要があります。また、金融資本市場の変動等の影響にも引き続き注意が必要です。

このような状況において、当社グループは新たな経営計画として「Next Design 2030」を策定いたしました。「Next Design 2030」では「雪印メグミルクアセットの大変革」をテーマに掲げ、事業戦略の4つの柱として「成長の果実の育成と収穫」「乳の産業価値を高める構造の変革」「リジェネラティブな酪農の実現」「社会とのつながりの進化」を掲げ、取り組んでまいります。そのスタートの年となる2025年度は経営方針を「Brand-NEW」とし、新しいCIの浸透活動を通じたブランド力の強化（Brand-NEW“BRAND”）と、事業ポートフォリオ改革に向けた新しい経営基盤への変革（Brand-NEW“BASIS”）の二つの重点取り組みに基づく各種施策を推進しました。

以上の結果、当連結会計年度の連結経営成績につきましては次のとおりです。

売上高は、乳製品セグメントが増収となったものの、飲料・デザート類セグメントの減収などにより、615,761百万円(前年同期比0.0%減)と、前年並みとなりました。営業利益は、各種コストアップに対応した価格改定によるプラス効果があった一方、ブランド浸透諸施策や100周年記念イベント実施による経費の増加、前年度に発生した他社のシステムトラブルによる一時的な物量増加の反動、当社が先行して価格改定を行ったカテゴリーにおける想定以上の物量減少などが影響し、18,266百万円(前年同期比4.5%減)となりました。経常利益は、20,486百万円(前年同期比1.1%増)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、主に政策保有株式の売却益の計上などにより32,897百万円(前年同期比136.6%増)となりました。

セグメントごとの当連結会計年度の業績は次のとおりです。なお、セグメントごとの売上高につきましては、外部顧客に対する金額を記載しております。

#### ① 乳製品

当セグメントには、乳製品（チーズ、バター、粉乳等）、油脂、機能性食品、粉ミルク等の製造・販売が含まれております。

売上高は268,428百万円(前年同期比1.9%増)、営業利益は10,515百万円(前年同期比1.1%増)となりました。

(売上高の状況)

バターは、価格改定を実施したことに加え、底堅い需要により販売物量を維持しました。年間を通じて好調に推移し、前年を上回りました。

油脂は、バター系商品を中心に値ごろ感のある中容量タイプが伸長し、堅調に推移しました。

チーズは、各種プロモーション活動や店頭での露出強化等により、主力の「さけるチーズ」が過去最高の売上高を記録しましたが、価格改定の影響等によって販売物量が減少し、チーズ全体では前年を下回りました。

(営業利益の状況)

コストアップに対応するために、一時的な販売物量への影響が懸念される中でも価格改定を断行しました。各種プロモーション活動等も積極的に推進し、前年を上回りました。

② 飲料・デザート類

当セグメントには、飲料(牛乳類、果汁飲料等)、ヨーグルト、デザートの製造・販売が含まれております。  
売上高は260,271百万円(前年同期比1.5%減)、営業利益は3,905百万円(前年同期比30.9%減)となりました。

(売上高の状況)

飲料は、機能性表示食品の「MBPドリンク」シリーズが前年を上回った他、ライフスタイルに合わせて容量を選ばせる新商品「雪印メグミルクおいしい牛乳 750ml」を発売しましたが、価格改定の影響等による物量の減少や、2025年3月をもって「農協野菜Days 1000ml」の販売を終了した影響等もあり、飲料全体では前年を下回りました。

ヨーグルトは、「恵megumiガセリ菌SP株ヨーグルト」シリーズが、各種プロモーション活動の後押しもあり、前年を上回りました。「牧場の朝ヨーグルト」等のファミリーユース商品や、小容量タイプの「ブルーFe 1日分の鉄分 のむヨーグルト」等も堅調に推移し、ヨーグルト全体でも前年を上回りました。

デザート・生クリームは、デザート的主力である「クリーム&」シリーズや、業務用生クリームが堅調に推移し、前年を上回りました。

(営業利益の状況)

コストアップに対応した価格改定や、各種プロモーション活動を積極的に推進したものの、販売物量の減少の影響等により、前年を下回りました。

③ 飼料・種苗

当セグメントには、牛用飼料、牧草・飼料作物種子、野菜種子の製造・販売、造園事業が含まれております。  
売上高は47,942百万円(前年同期比1.1%減)、営業利益は710百万円(前年同期比95.3%増)となりました。

(売上高の状況)

配合飼料の販売単価下落による減収が主な要因となり、当セグメント全体で前年を下回りました。

(営業利益の状況)

売上高は減少したものの、原価低減による粗利益増により増益となりました。

④ その他

当セグメントには、共同配送センター事業、不動産賃貸事業等が含まれております。

売上高は39,118百万円(前年同期比1.4%減)、営業利益は3,346百万円(前年同期比25.0%増)となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## ① 資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

区分	2025年 3月期末	2026年 3月期末	増減金額	主な増減理由
資産	431,073	426,820	△4,252	現金及び預金△7,332 受取手形及び売掛金2,620 商品及び製品2,870 原材料及び貯蔵品4,257 建物及び構築物(純額)5,586 機械装置及び運搬具(純額)3,879 投資有価証券△21,072
負債	183,035	186,078	3,042	未払法人税等11,048 繰延税金負債△7,300
純資産	248,037	240,741	△7,295	資本剰余金△17,029 利益剰余金25,860 その他有価証券評価差額金△13,722

## ② キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

区分	2025年 3月期	2026年 3月期	増減金額	主な増減理由
営業活動による キャッシュ・フロー	21,100	22,897	1,797	税金等調整前当期純利益27,220 投資有価証券売却損益(△は益)△30,039 法人税等の支払額8,748
投資活動による キャッシュ・フロー	△18,512	7,067	25,579	有形及び無形固定資産の取得による支出 △6,357 投資有価証券売却による収入31,333
財務活動による キャッシュ・フロー	△10,375	△37,348	△26,973	長期借入金の返済による支出△6,407 自己株式の取得による支出△19,739
現金及び現金同等物の 期末残高	21,319	13,998	△7,320	—

当社グループのキャッシュ・フロー関連指標の推移は下記のとおりであります。

決算年月	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率(%)	53.8	56.8	55.7
時価ベースの自己資本比率(%)	42.7	40.1	46.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	1.9	2.6	2.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	82.6	57.1	57.2

※自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利息の支払額

(注) 1. 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3. キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている負債を対象としております。

### (3) 今後の見通し

今後のわが国経済の見通しにつきましては、中東情勢の影響や米国の通商政策をめぐる動向を注視する必要があります。また、金融資本市場の変動等が国内に及ぼす影響に十分注意する必要があります。

食品業界においては、インバウンドによる外食の増加や、健康志向の高まりによる高付加価値商品の開発等で堅調な市場拡大が期待される一方で、世界経済の不透明感や原油価格の上昇等による消費マインドの低下が懸念されます。また、原材料価格や輸送コスト等の上昇といった厳しい経営環境が継続することが想定されます。

酪農乳業界においては、価格改定の影響等により、牛乳類の消費量は前年割れが続いています。一方で、2026年度は生乳生産量の減少が見込まれ、脱脂粉乳の生産量は前年割れに転じる見込みであるものの、需要低迷により在庫数量は増大することが見込まれています。

このような状況において、当社グループは2025年5月に発表した経営計画「Next Design 2030」に基づき、「雪印メグミルクアセットの大変革」をテーマに掲げ、事業戦略の4つの柱として「成長の果実の育成と収穫」「乳の産業価値を高める構造の変革」「リジェネラティブな酪農の実現」「社会とのつながりの進化」を掲げ、取り組んでまいります。2027年3月期は、昨年実施した価格改定効果に加え、プロモーション施策やマーケティングの強化によって収益性の高い商品の販売拡大等に取り組めます。

以上により、2027年3月期の連結業績見通しは、売上高645,000百万円(前年同期比4.7%増)、営業利益21,000百万円(前年同期比15.0%増)、経常利益21,800百万円(前年同期比6.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益24,500百万円(前年同期比25.5%減)としております。

また、セグメントごとの通期売上見通しは、乳製品282,000百万円(前年同期比5.1%増)、飲料・デザート類277,500百万円(前年同期比6.6%増)、飼料・種苗49,000百万円(前年同期比2.2%増)、その他36,500百万円(前年同期比6.7%減)としております。

### (4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、営業キャッシュ・フロー、BSマネジメントおよび外部格付A格を維持できる範囲内での有利子負債の活用により、成長投資を実施したうえで株主還元も強化していきます。資本構成はネットD/Eレシオ0.5を目安として投資の状況に合わせて段階的に最適化していきます。

株主還元方針は、これまでの資産売却益を除く連結配当性向40%以上に加え、新たに配当下限100円を設定し、安定的な配当の継続に努めてまいります。

また、株価や資本構成の状況と成長投資の資金需要を考慮しつつ、資本効率向上に向けて当期は200億円の自己株式の取得・消却を実施いたしました。

この方針に基づき、当期の配当につきましては1株当たり100円といたしました。なお、当期の剰余金配当の支払開始日は2026年6月4日としております。

次期の配当につきましては、1株あたり100円の配当を予定しております。また、100億円の自己株式の取得枠を設定いたしました。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,374	14,041
受取手形及び売掛金	81,443	84,063
契約資産	21	6
商品及び製品	43,827	46,698
仕掛品	1,168	1,131
原材料及び貯蔵品	19,696	23,954
未収入金	3,453	3,205
その他	3,080	3,066
貸倒引当金	△358	△327
流動資産合計	173,706	175,841
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	130,212	140,333
減価償却累計額	△67,648	△71,263
減損損失累計額	△2,256	△3,176
建物及び構築物(純額)	60,307	65,894
機械装置及び運搬具	218,879	230,535
減価償却累計額	△162,299	△169,171
減損損失累計額	△3,656	△4,560
機械装置及び運搬具(純額)	52,923	56,802
工具、器具及び備品	21,246	22,779
減価償却累計額	△16,650	△17,021
減損損失累計額	△692	△763
工具、器具及び備品(純額)	3,903	4,994
土地	47,227	47,141
リース資産	9,012	9,270
減価償却累計額	△5,927	△6,164
減損損失累計額	△450	△447
リース資産(純額)	2,635	2,658
建設仮勘定	8,834	10,738
有形固定資産合計	175,831	188,229
無形固定資産		
リース資産	16	410
ソフトウェア	6,001	6,754
施設利用権	368	305
のれん	328	222
その他	93	91
無形固定資産合計	6,807	7,785
投資その他の資産		
投資有価証券	56,370	35,297
長期前払費用	654	576
退職給付に係る資産	10,086	11,221
繰延税金資産	2,843	3,290
その他	4,936	4,706
貸倒引当金	△164	△128
投資その他の資産合計	74,726	54,963
固定資産合計	257,366	250,979
資産合計	431,073	426,820

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	60,222	59,965
電子記録債務	4,621	3,672
短期借入金	7,385	6,691
1年内返済予定の長期借入金	9,559	554
リース債務	665	833
未払金	8,020	10,883
未払法人税等	1,780	12,828
未払費用	3,937	4,357
契約負債	232	52
預り金	791	539
賞与引当金	5,583	5,780
その他	16,462	22,295
流動負債合計	119,263	128,455
固定負債		
社債	15,030	15,021
長期借入金	19,650	19,446
長期預り金	4,764	4,767
リース債務	3,568	3,770
繰延税金負債	8,314	1,014
再評価に係る繰延税金負債	3,938	3,929
役員退職慰労引当金	6	1
退職給付に係る負債	7,138	6,736
資産除去債務	1,287	2,776
その他	74	160
固定負債合計	63,772	57,622
負債合計	183,035	186,078
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	17,029	-
利益剰余金	175,746	201,607
自己株式	△5,553	△8,167
株主資本合計	207,222	213,440
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,415	9,693
繰延ヘッジ損益	22	25
土地再評価差額金	8,448	8,425
為替換算調整勘定	1,180	1,321
退職給付に係る調整累計額	4,391	4,760
その他の包括利益累計額合計	37,458	24,226
非支配株主持分	3,356	3,075
純資産合計	248,037	240,741
負債純資産合計	431,073	426,820

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	615,819	615,761
売上原価	514,319	511,396
売上総利益	101,500	104,364
販売費及び一般管理費		
販売費	60,018	60,185
一般管理費	22,355	25,912
販売費及び一般管理費合計	82,374	86,098
営業利益	19,125	18,266
営業外収益		
受取利息	69	87
受取配当金	952	944
持分法による投資利益	662	1,210
その他	1,010	1,068
営業外収益合計	2,694	3,310
営業外費用		
支払利息	363	394
寄付金	579	118
特殊ミルク供給事業費用	131	152
その他	482	424
営業外費用合計	1,557	1,090
経常利益	20,262	20,486
特別利益		
固定資産売却益	1,213	29
投資有価証券売却益	329	29,992
その他	180	581
特別利益合計	1,723	30,603
特別損失		
固定資産売却損	7	16
固定資産除却損	1,842	1,492
減損損失	1,319	2,501
関係会社整理損	-	844
その他	300	497
特別損失合計	3,469	5,352
税金等調整前当期純利益	18,516	45,737
法人税、住民税及び事業税	5,699	14,655
法人税等調整額	△1,260	△1,616
法人税等合計	4,439	13,038
当期純利益	14,077	32,698
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	173	△198
親会社株主に帰属する当期純利益	13,904	32,897

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	14,077	32,698
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,417	△13,718
繰延ヘッジ損益	△18	3
土地再評価差額金	△123	△22
為替換算調整勘定	184	121
退職給付に係る調整額	2,857	331
持分法適用会社に対する持分相当額	61	83
その他の包括利益合計	4,379	△13,201
包括利益	18,457	19,497
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	18,259	19,664
非支配株主に係る包括利益	197	△167

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益
当期首残高	20,000	17,027	167,278	△5,322	198,983	21,958	40
当期変動額							
剰余金の配当			△5,414		△5,414		
親会社株主に帰属する 当期純利益			13,904		13,904		
自己株式の取得				△293	△293		
自己株式の消却					-		
自己株式の処分				62	62		
非支配株主との取引 に係る親会社の持分 変動		1			1		
連結子会社の増加に 伴う利益剰余金の減 少高			△20		△20		
土地再評価差額金の 取崩					-		
利益剰余金から資本 剰余金への振替					-		
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)						1,457	△18
当期変動額合計	-	1	8,468	△231	8,238	1,457	△18
当期末残高	20,000	17,029	175,746	△5,553	207,222	23,415	22

	その他の包括利益累計額				非支配株主 持分	純資産合計
	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	8,571	1,033	1,499	33,102	3,214	235,300
当期変動額						
剰余金の配当						△5,414
親会社株主に帰属する 当期純利益						13,904
自己株式の取得						△293
自己株式の消却						-
自己株式の処分						62
非支配株主との取引 に係る親会社の持分 変動						1
連結子会社の増加に 伴う利益剰余金の減 少高						△20
土地再評価差額金の 取崩						-
利益剰余金から資本 剰余金への振替						-
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)	△123	147	2,892	4,355	142	4,497
当期変動額合計	△123	147	2,892	4,355	142	12,736
当期末残高	8,448	1,180	4,391	37,458	3,356	248,037

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益
当期首残高	20,000	17,029	175,746	△5,553	207,222	23,415	22
当期変動額							
剰余金の配当			△6,767		△6,767		
親会社株主に帰属する 当期純利益			32,897		32,897		
自己株式の取得				△20,007	△20,007		
自己株式の消却		△17,305		17,305	-		
自己株式の処分		0		88	88		
非支配株主との取引 に係る親会社の持分 変動		△14			△14		
連結子会社の増加に 伴う利益剰余金の減少高					-		
土地再評価差額金の 取崩			22		22		
利益剰余金から資本 剰余金への振替		291	△291		-		
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)						△13,722	3
当期変動額合計	-	△17,029	25,860	△2,613	6,217	△13,722	3
当期末残高	20,000	-	201,607	△8,167	213,440	9,693	25

	その他の包括利益累計額				非支配株主 持分	純資産合計
	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	8,448	1,180	4,391	37,458	3,356	248,037
当期変動額						
剰余金の配当						△6,767
親会社株主に帰属する 当期純利益						32,897
自己株式の取得						△20,007
自己株式の消却						-
自己株式の処分						88
非支配株主との取引 に係る親会社の持分 変動						△14
連結子会社の増加に 伴う利益剰余金の減少高						-
土地再評価差額金の 取崩						22
利益剰余金から資本 剰余金への振替						-
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)	△22	140	368	△13,231	△281	△13,513
当期変動額合計	△22	140	368	△13,231	△281	△7,295
当期末残高	8,425	1,321	4,760	24,226	3,075	240,741

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	18,516	45,737
減価償却費	17,295	17,482
減損損失	1,319	2,501
関係会社整理損	-	844
持分法による投資損益(△は益)	△662	△1,210
のれん償却額	135	117
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4	△67
賞与引当金の増減額(△は減少)	△350	201
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△272	△597
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△65	△428
固定資産除売却損益(△は益)	636	1,479
投資有価証券売却損益(△は益)	△326	△30,366
受取利息及び受取配当金	△1,022	△1,031
支払利息	363	394
未収入金の増減額(△は増加)	397	△51
売上債権の増減額(△は増加)	7,303	△2,600
棚卸資産の増減額(△は増加)	△4,929	△9,145
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,292	△1,189
その他	△2,383	3,622
小計	32,657	25,693
利息及び配当金の受取額	1,360	1,403
利息の支払額	△369	△400
法人税等の支払額	△12,547	△3,798
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,100	22,897
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△9	△6
定期預金の払戻による収入	42	19
貸付けによる支出	△17	△73
貸付金の回収による収入	29	24
有形及び無形固定資産の取得による支出	△20,933	△27,291
有形及び無形固定資産の売却による収入	3,163	2,387
投資有価証券の取得による支出	△687	△114
投資有価証券の売却による収入	852	32,186
敷金及び保証金の差入による支出	△1,327	△76
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	244	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式等の売却による収入	-	789
その他	130	△776
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,512	7,067

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△746	△689
長期借入れによる収入	-	430
長期借入金の返済による支出	△3,231	△9,639
社債の償還による支出	△4	△9
自己株式の取得による支出	△268	△20,007
配当金の支払額	△5,399	△6,746
非支配株主への配当金の支払額	△2	△2
非支配株主からの払込みによる収入	-	108
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△12	△421
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	-	192
その他	△709	△562
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,375	△37,348
現金及び現金同等物に係る換算差額	118	62
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,668	△7,320
現金及び現金同等物の期首残高	28,988	21,319
現金及び現金同等物の期末残高	21,319	13,998

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書関係)

前連結会計年度において、「営業外費用」の「その他」に含めて表示しておりました「特殊ミルク供給事業費用」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より「営業外費用」に独立掲記しております。

これらの表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外費用」の「その他」614百万円は、「特殊ミルク供給事業費用」131百万円、「その他」482百万円として組み替えております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行なう対象となっているものであります。

当社グループは、主たる事業として、乳(ミルク)等を使用した製品の製造・販売および牛用飼料、牧草・飼料作物種子等の製造・販売を行なっており、チーズ・バター等の「乳製品」および牛乳・ヨーグルト等の「飲料・デザート類」については主に当社が、「飼料・種苗」については主に雪印種苗㈱が行なっております。

したがって、当社グループは、製品別のセグメントから構成されており、「乳製品」、「飲料・デザート類」および「飼料・種苗」の3つを報告セグメントとしております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報  
前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント(注) 1				その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	連結 財務諸表 計上額 (注) 4
	乳製品	飲料・ デザート類	飼料・種苗	計				
売上高								
顧客との契約から生 じる収益	263,324	264,326	48,485	576,135	39,331	615,467	—	615,467
その他の収益	—	—	—	—	352	352	—	352
外部顧客への売上高	263,324	264,326	48,485	576,135	39,683	615,819	—	615,819
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14,261	83	1,178	15,523	13,528	29,052	△29,052	—
計	277,586	264,409	49,663	591,659	53,212	644,872	△29,052	615,819
セグメント利益	10,405	5,653	363	16,422	2,676	19,099	25	19,125
セグメント資産	231,874	147,345	33,470	412,690	39,577	452,267	△21,194	431,073
その他の項目								
減価償却費(注) 5	9,267	6,221	674	16,163	1,264	17,428	△132	17,295
のれんの償却額	135	—	—	135	—	135	—	135
減損損失	1,039	—	37	1,076	3	1,079	239	1,319
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額 (注) 6	14,228	5,496	951	20,676	871	21,547	△494	21,052

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント(注) 1				その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	連結 財務諸表 計上額 (注) 4
	乳製品	飲料・ デザート類	飼料・種苗	計				
売上高								
顧客との契約から生 じる収益	268,428	260,271	47,942	576,642	38,772	615,414	—	615,414
その他の収益	—	—	—	—	346	346	—	346
外部顧客への売上高	268,428	260,271	47,942	576,642	39,118	615,761	—	615,761
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,019	76	627	15,722	15,035	30,758	△30,758	—
計	283,447	260,348	48,570	592,365	54,154	646,520	△30,758	615,761
セグメント利益	10,515	3,905	710	15,131	3,346	18,478	△211	18,266
セグメント資産	225,231	147,622	33,991	406,845	35,666	442,511	△15,691	426,820
その他の項目								
減価償却費(注) 5	8,942	6,879	684	16,506	1,144	17,650	△167	17,482
のれんの償却額	117	—	—	117	—	117	—	117
減損損失	2,189	—	114	2,303	—	2,303	197	2,501
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額 (注) 6	17,180	15,557	1,765	34,503	1,308	35,812	△367	35,444

- (注) 1. 報告セグメントの売上高は、主に「商品または製品の販売に係る収益」によるものです。  
 2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、共同配送センター事業および不動産賃貸事業等が含まれております。売上高は、主に「配送サービスに係る収益」によるものです。  
 3. 調整額の内容は以下のとおりであります。

売上高

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	△29,052	△30,758
合計	△29,052	△30,758

セグメント利益

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	25	△211
合計	25	△211

## セグメント資産

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間債権債務消去等	△25,260	△25,739
全社資産※	4,065	10,047
合計	△21,194	△15,691

※ 全社資産は、主に当社の余資運用資金および遊休資産であります。

4. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。
  5. 減価償却費には、長期前払費用の償却額が含まれております。
  6. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用の増加額が含まれております。
3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(固定資産に係る重要な減損損失)
- 乳製品セグメントにおいて、2025年11月14日に当社興部工場（北海道紋別郡興部町）の生産終了を決定したことから減損の兆候があると判断しました。
- 減損判定をした結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失（2,154百万円）として、特別損失に計上しております。

## (収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「(5)連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

## (1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	3,626.93円	3,923.36円
1株当たり当期純利益金額	205.93円	524.82円
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額	潜在株式調整後1株当たり当期 純利益金額については、潜在株 式が存在しないため記載してお りません。	潜在株式調整後1株当たり当期 純利益金額については、潜在株 式が存在しないため記載してお りません。

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額 (百万円)	248,037	240,741
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	3,356	3,075
(うち非支配株主持分) (百万円)	(3,356)	(3,075)
普通株式に係る当連結会計年度末の純資産額 (百万円)	244,680	237,666
1株当たり純資産額の算定に用いられた当連 結会計年度末の普通株式の数 (株)	67,462,296	60,577,361

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (百万円)	13,904	32,897
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額 (百万円)	13,904	32,897
期中平均株式数 (株)	67,519,628	62,682,412

3. 業績連動型株式報酬制度に係る信託が保有する当社株式を、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式数に含めております。また、1株当たり当期純利益金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めております。なお、信託が保有する期末自己株式数は前連結会計年度216千株、当連結会計年度182千株であり、期中平均自己株式数は前連結会計年度161千株、当連結会計年度193千株であります。

## (重要な後発事象)

## (自己株式の取得)

当社は、2026年5月14日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

## 1. 自己株式の取得を行う理由

当社は2025年5月に公表いたしました2030年度までの経営計画「Next Design 2030」の資本政策に基づき、株価や資本構成の状況と成長投資の資金需要などを総合的に勘案し、資本効率の向上を目的として自己株式の取得を実施することといたしました。

## 2. 取得に係る事項の内容

(1) 取得対象株式の種類	当社普通株式
(2) 取得し得る株式の総数	4,000,000株(上限) (下記発行済株式総数(自己株式除く)に対する割合6.6%)
(3) 株式の取得価額の総額	100億円(上限)
(4) 取得期間	2026年5月15日から2027年3月12日まで
(5) 取得方法	東京証券取引所における市場買付け
(6) その他	本件により取得した自己株式の相当数については、会社法第178条の規定に基づく取締役会決議により消却する予定です。

## (ご参考)

2026年4月30日時点の自己株式の保有状況

発行済株式総数(自己株式を除く) 60,759,970 株

自己株式数 3,075,485 株

※自己株式には、役員報酬信託口が所有する当社株式を含めていません。

## (重要な設備投資)

当社は、2026年5月14日開催の取締役会において、経営計画「Next Design 2030」に基づく生産体制の進化として、「関東地区の生産体制整備」の実施を決議いたしました。

## 1. 設備投資の目的

当社は、経営計画である「Next Design 2030」において、新たな発想で生産体制を進化させ、サステナブルなバリューチェーンへの進化を目指しています。

この取り組みの一環として、今般、関東地区における効率的な生産体制を構築するため、川越工場の生産を終了し、海老名工場及び野田工場に経営資源を集中投入し、グループ会社であるルナ物産株式会社の活用を含め、発酵乳、チルドデザート生産機能の集約を図ることを決定しました。

アセット変革を断行し、「食の持続性の実現」と事業成長による「企業価値の向上」の両立を図ります。

## 2. 設備投資の概要

川越工場の生産機能を、海老名工場及び野田工場の既存の空スペース及びグループ会社であるルナ物産株式会社を活用することで、集約いたします。

実施にあたり、これまで蓄積してきた製造技術の進化、高速化により、省人化の実現と生産性の向上を図ります。

本投資計画の投資額、スケジュール等の概要は次のとおりです。

## 投資計画の概要

項目	内容
対象工場	海老名工場(神奈川県海老名市) 野田工場(千葉県野田市) ルナ物産株式会社(愛媛県松山市)
投資額	約109億円
設備投資の内容	川越工場の発酵乳、チルドデザート生産機能集約
工事着工予定	2027年度 下期
稼働開始予定	2028年度 上期より順次

## 3. 川越工場の生産終了について

生産機能の集約に伴い、川越工場の生産を終了いたします。

## 川越工場の概要

項目	内容
所在地	埼玉県川越市的場1535
敷地面積	7,069㎡
操業開始年次	1989年
従業員数(※)	151名
主な生産品目	発酵乳、チルドデザート
生産終了時期(予定)	2028年度上期中を目途とする。

※従業員数は2026年4月1日時点

## 4. 今後の見通し

当該投資計画の決定による、2027年3月期の連結業績に与える影響は軽微です。